

職域接種及び大学拠点接種の見通しについての考え方

- 職域接種及び大学拠点接種の申請については、専用受付サイトから申請をいただくと、まず厚生労働省から申請受付のメールが届くことになっており、そのうち、厚生労働省において申請内容を確認したものについては、確認メールが届く仕組みになっています。この2度目の確認メールが届いた確認済みの会場が、接種に向けた具体的な手続きに進むことになります。
- 6月25日17時をもっていったん申請受付を休止していますが、それまでに職域接種、大学拠点接種で約3,700万回分の申請をいただきました。
- 確認済みの会場については、ワクチンの供給に支障がない限りにおいて、当初申請いただいた内容の人数、スケジュールで実施できるように、ワクチンの供給等の手続きを進めています。接種を行う前の週にワクチンを配送し、その前の週の金曜日までに配送量等に関する連絡をすることとしています。このため、7月19日の週以降に接種を開始する会場については、まだ連絡をしていませんが、お待ちいただければと思います。
- なお、モデルナ社のワクチンは配送先から移送できず、配送先ですべて接種していただく必要があります。貴重なワクチンを無駄にしないという観点から、実際の接種実績に応じて、ワクチンの配送量をしっかりと精査させていただきます。毎週の配送量の調整は、V-SYS上に入力いただくことで行っておりますが、その際に、接種実績も入力いただくよう、お願いします。入力がされていなければ、配送量がゼロになる可能性がありますのでご注意ください。
- 職域接種における1週間あたりの配送量のピークは、7月19日の週、7月26日の週(接種ベースだと、7月26日の週、8月2日の週)になり、その後、徐々に低減すると予測しています。
- これに伴い、新たな会場に配送する余地が徐々に拡大していくことが想定される中、現時点で確認済みになっていない会場については、順次確認作業を行った上で、基本的に8月9日の週以降に、接種を開始いただけるものと考えています。
- 新たな確認については、各省庁の協力を得て、各会場の状況を検討いただいた上で、開始予定期間や申請日時等を勘案して、順次行っていきたいと考えています。そのため、週明けにも、関係する省庁から、接種対象者等についてヒアリングを行わせていただくことになると思いますので、ご対応をお願いいたします。
- なお、大学拠点接種についても、早期の接種の必要性等を勘案し、文部科学省において、調整いただきます。
- 現在申請していただいている職域接種分・大学拠点接種分のモデルナ社のワクチンは総量として5,000万回分確保しており、自治体の大規模接種分の1,200万回分を差し引いても十分な量は確保していますので、少しお待ちいただくことにはなりますが、実施していただくことは可能です。